

## 平成 30 年度第 2 回血液検査機器技術委員会議事録

1. 開催日時：平成 30 年 10 月 12 日（金）13：30～14：30
2. 開催場所：神戸国際会議場 502 号室
3. 出席者：稲葉、金子、増田、久保田、常名、藤巻、新保、内藤、土屋、  
政元、井上、川手、加藤、小林、近藤、長濱、斎藤、舟久保、鈴木、  
遠見、竹中、中山、森、岩村、春日、星野、三島  
欠席者：渡邊
4. 議題
  - 1) 報告事項
    - (1) 新委員紹介  
鈴木委員、星野委員の紹介があった。
    - (2) 平成 30 年度第 1 回血液検査機器技術委員会議事録確認  
特に修正意見等なし。
  - 2) 審議事項
    - (1) 第 8 回血液検査機器技術セミナーの報告
      - ① 日 時：平成 30 年 10 月 11 日（木）15:10～17:40
      - ② 会 場：神戸国際会議場 第IV会場（401 + 402）
      - ③ テーマ：「血液検査の品質保証」
      - ④ 担 当：政元委員、常名委員
      - ◇ 委員長より参加者 201 名であり、委員の協力に感謝する旨報告があった。  
事前申込者：129 名（事前申込件数 153 名）  
当日参加者：72 名
      - ◇ 参加者からのアンケート集計結果（資料 1）
    - (2) 第 9 回血液検査機器技術セミナーについて
      - ① テーマ：「凝固検査の品質保証」
      - ② 担 当：久保田委員、内藤委員
      - ◇ 参加者からのアンケート集計結果（資料 2）
      - ◇ 久保田委員より資料 3 に基づき企画案の説明があった。
      - ◇ アンケートの配布方法については各メーカーより ISO 取得施設の血液検査責任者にアンケート趣意書を渡して頂き、久保田委員へ担当者の連絡先を連絡いただく。久保田委員より各施設へアンケートを送付し、回答いただくこととする。
      - ◇ アンケート実施の旨を学会 HP へ掲載する。原案は稲葉委員長が作成し、学会事務局へ依頼する。（13 日の学術委員長会議で確認済）

- ◇ 各メーカーの凝固検査機器の原理、エラーメッセージの意味と対処方法等について雛形を作成し、調査する。エラーメッセージについては全種類を対象とし、その中から頻度の多いエラーについて発表する。
- ◇ メッセージへの対処を受けて金子委員よりデータの見方を中心に講演頂く。講演4と講演5を合わせて50分とし、時間配分を調整する。

(3) 第10回血液検査機器技術セミナーについて

- ① テーマ：「各社血球計数装置の特性について（仮題）」
- ② 担当：藤巻委員、井上委員

- ◇ 東大に各メーカーの機器を持ち込んで検討する。常名委員、増田委員で院内に必要な手続きをとっていただく。
- ◇ 時期は常名委員が調整する。2回に分けての検討になる可能性もあり。
- ◇ 対象症例はAML、ALL、反応性リンパ球増多、血小板凝集とし、各5例を目標とする。
- ◇ スキャッタグラムを中心に検討する。

5. その他

- ◇ 第11回血液検査機器技術セミナーの内容については来年4月の委員会で協議する。
- ◇ 来年度より副委員長（事務局）を久保田委員に交代する。

（文責：三島清司）